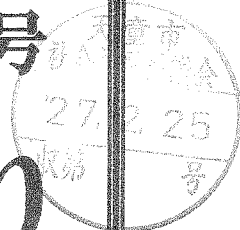
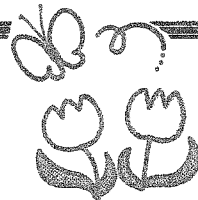


社会福祉協議会だより



発行 高橋地域社会福祉協議会

平成27年2月15日

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

「元気で長生き」インタビュー

高橋在住！

今回は長岡2町内会にお住まいの高橋誠次さん満 103歳を訪ねました。



誠次さんは、明治45年生まれで、高橋家の 12 代目です。若いときから農業一筋で「タラの芽」等も作りました。自分でできることは何でも自分でやったそうです。タバコは吸わず、酒は少々(にがり酒が好き)、コーヒー、ココア、黒砂糖が好物で、牛乳、ヤクルト、冬でも氷水を飲んでいるとのこと。

長生きの秘訣は、「いつも笑顔で家庭円満、怒らないこと」だそうです。

誠次さんは、103歳とは思えないほど若々しく、話もはっきりしています。また、お嫁さんが誠次さんに何でも話をしてくれて明るい家庭でした。良いことは見習ってみませんか？

「高橋元気塾」開催

10月13日(月)に市立高橋公民館で「高橋元気塾」を開催しました。高齢の一人暮らしの方とご夫婦世帯の方々他役員など約90名が参加しました。

＜講演会と昔話＞ 天童のとんと昔を語る会代表で、以前高橋小学校に勤務されていた鴨田みさを先生より『病気がくれた幸せ』の講演があり、病気に負けず努力を重ねて元気になった体験を聞きました。次に先生とメンバーの方々による「願正坊と甘酒川」など高橋と天童の昔話を聞きました。

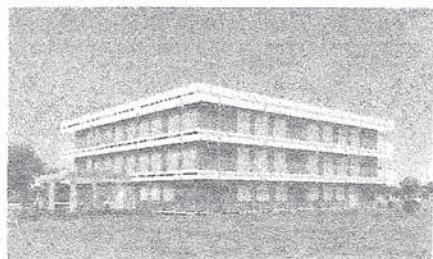


＜歌と演奏＞ 民謡と三味線と尺八のかかしのみなさんの歌と演奏を聞いたり、歌ったりして楽しみました。

社会福祉法人 羽陽の里たかだま 4月1日オープン

特別養護老人ホームが羽陽学園短期大学敷地内に建設中で、入居・利用者を募集しています。施設には地域の人が会議や活動などで利用できる地域交流ホールもあります。

内覧会予定 3月21日(土) 22日(日) 28日(土) 29日(日)



☆地域密着型 特別養護老人ホーム

定員 29名 ユニット型個室

入居対象者 天童市在住の方 要介護3以上の方

☆小規模多機能型居宅介護 登録 25名

利用対象者 天童市在住の方

☆短期入所生活介護(ショートステイ) 定員 10名

お問い合わせ先 天童市大字清池1559 TEL 023-674-8711

福祉介護 Q & A

Q 家族で介護が必要になりました。介護の支援をうけるにはどうすればいいですか？

A まず市役所か地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・介護保険施設などへ相談し、要介護認定をしてもらいます。その後ケアマネージャーを決定します。

Q 介護保険制度でどんなサービスが受けられますか？

A 身体の状態や介護度に合わせ、ケアマネージャーに介護のプランを作成してもらいます。次のサービスが利用できます。

◎施設に入所する。 ◎送迎付き日帰り(デイサービスなど)

◎短期間入所(ショートステイ) ◎自宅に来てもらう(ホームヘルパー)

◎いろいろ組み合わせる(小規模多機能型介護)

◎ベッド、車椅子、杖など福祉用具の貸与、販売。

相談先 天童市地域包括支援センター 658-8190

天童市在宅介護支援センター「明幸園」 653-1170

天童市社会福祉課介護係(4月より保険給付課) 654-1111



地域で支えあおう 強い絆のまち高掬

認知症サポーター養成講座開催

8月24日(日)に市立高掬公民館で認知症サポーター養成講座を開催しました。

講師は天童市地域包括支援センターの小池千恵子副センター長で、映像や豊富な事例などでわかりやすく説明してくれました。参加者は、100名を越え、真剣に学びました。



認知症は、近い将来、高齢者の五人に一人の割合で発症すると言われ、誰にでも突然訪れる病気です。しかし、その病気に対する理解が不足しているため、偏見や疎外感、地域からの孤立などがあり、社会問題になっています。

この講座で、認知症の理解を深め、どのように対応していくとよいか学ぶことができました。本人の尊厳を基本に、やさしくいつもどおりに見守り、困っているときはそっと手助けすることが大切です。

◎ 認知症の方と家族を地域で温かく支えていきましょう。

◎ 一人で歩き回って、困っているような高齢者の方を見かけたら

「なにだったのや?」「どこさ行くのやっす。少し休まっしゃい。」とやさしく声をかけてください。

今後も認知症サポーター養成講座を実施しますので、ぜひご参加ください。

平成 26 年度行事予定

高掬地域社会福祉協議会理事会 3月5日(木)

高掬地域社会福祉協議会総会 3月14日(土)



＜昼食会、交流会＞ 食生活改善推進協議会五十嵐
ひで子高嶺支部長と役員のみなさん手作りのヘルシ
ーメニュー昼食をいただき、栄養について学び、交流
しました。

一人暮らし高齢者宅を訪問して

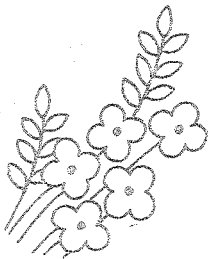
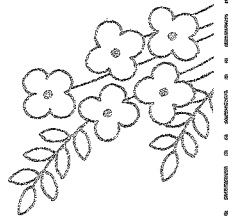
10月9日(日)、高嶺地域福祉推進員連絡会(長谷川信夫会長)と高嶺地区女性会(押野洋子会長)との共催で、75歳以上の一人暮らしの方のお宅を訪問しました。おはぎと果物を持参し、いろいろお話をし、大変喜んでいただきました。少しでも心の励みとなれば幸いです。

話の中から・・・常に医者とお友達になっている毎日です。

この冬の雪かきをどうしたらいいかなと思っています。

寒くなると外に出るのがいやになります。

たまにお茶飲みでもしたいです。・・・「いつでも福祉推進員の私の家に電話してね。お茶飲みすつべね。」と話してきました。



「高嶺ふれあいネット」で交流

12月10日(水)に天童最上川温泉ゆびあで、「高嶺ふれあいネット」を開催しました。75歳以上の一人暮らしとご夫婦世帯の方々と役員など、約50名が参加しました。ゆびあの副館長さんより温泉の効能の話、天童市地域包括支援センターの佐藤保健師による健康講話を聞き、血圧測定をして入浴をしました。昼食のお弁当をいただき、カラオケで歌ったり合唱をしたり、大いに盛り上がり楽しみました。

次回も多くの方の参加を期待しています。

